

「『デュアルシステム』とは？」

教頭 鈴木 雄也

令和6年度は、環境・流通サポート科8名、福祉サービス科7名を迎え、生徒45名でスタートしました。夏季休業までの教育活動を振り返りますと、新型コロナウイルスをはじめとした感染症の校内での拡大はなく、第2、3学年第一期職場実習や第1学年の宿泊研修を予定どおりに行うことができました。また、清溪祭は、上磯高等学校と合同の活動が随所に盛り込まれ、晴天にも恵まれて活気あふれる学校祭となりました。

さて、本校では特色ある教育活動の実践として、「北斗版デュアルシステム」があります。これは、地域の企業や事業所に連携を依頼し、学校と企業・事業所双方で学習と実習を進めていく教育活動のことを指しています。また、その中で週に1、2回地域の企業や事業所で働く学習を本校では「デュアル実習」と名付けています。

デュアルシステムとはもともと、職業訓練学校での教育と職場での職業訓練が同時に受けられる、ドイツで始まった若年者を対象とした職業教育システムです。日本でも「日本版デュアルシステム」として2004年からスタートし、若年者を対象に職業訓練を厚生労働省と文部科学省合同で推進しています。

このデュアルシステムというネーミングと、地域の企業・事業所で日常的に実習を行う方法を、特別支援学校高等部の教育活動にも導入したのが、京都市立白河総合支援学校です。この学校では、導入当初の2004年度から卒業生が高い就職率を維持したことから、先進的な教育手法として全国の特別支援教育関係者から注目されました。

私は、本校に赴任する前から、導入当時の校長先生の講演会などで話を聞く機会が多くあったのですが、デュアルシステムを導入した狙いと、実践したことで得られたメリットについて次のように話しています。

- ①本人や家族が将来の職業生活を具体的にイメージ出来る「環境」を在学中から設定することができる。企業実習を通じて、生徒一人ひとりについて学校でどんな力を育てる必要があるかを明らかにし、そして身に付けた力が社会で役に立つのか検証することを繰り返すことで、効果的に学べる。
- ②地域の人たちの活動を手伝うなかで、生徒は「ありがとう」のシャワーを浴びる。他者から感謝され、必要とされることを実感し、生徒は主体的に活動に取り組むようになり、自己肯定感を高めていく。
- ③生徒に対する企業の前向きな理解が進み、支援の在り方や職場環境の見直しを行うなど、地域の成長や町づくりに学校が貢献することができている。

①から③のこのことは、京都から遠く離れた北斗市で、20年経ったいま見事に同じ姿になっています。地域と手を携えて、共に歩いていく「北斗版デュアルシステム」に誇りを持ち、8月以降も充実した教育活動を推進していきたいと考えております。御協力のほどよろしくお願いいたします。

第3学年 第一期前提実習

第一期前提実習を5月21日～6月13日に行いました。前提実習とは、2年生までの職場実習とは違い、卒業後の実際の労働を前提とした実習で、各企業に戦力となるかどうかの判断をいただきました。この実習をとおして気付いた課題と向き合い、次回は10月に第二期前提実習に挑みます。



第62回清溪祭



上磯高等学校と北斗高等支援学校が合同で行う学校祭“清溪祭”を、7月13日(土)～14日(日)に行いました。今年度は様々な制限もなくなり、本来の物品販売量となるなど盛況で、生徒会企画でも一緒に盛り上がる姿など、とても賑やかな清溪祭となりました。準備期間も含めて生徒たちにとって楽しい思い出となったようです。

1日目:生徒会企画・ステージ発表

午前は生徒会企画のゲームと有志ステージ発表、午後は上磯高校と北斗高等支援学校の学年ごとのステージ発表を行いました。



2日目:物品販売

学科ごとにお世話になっている企業や施設の商品、お弁当、お菓子などを販売させていただきました。



部活動紹介

ティースボール・バスケットボール部

今年度は生徒 17 名で活動しています。8月18日(日)には函館オーシャンスタジアムで開催された、第7回オーシャンドリームティースボール大会にブルーサンダース・ホワイトサンダースの2チームで参加しました。結果は、ブルーサンダースが全勝優勝、ホワイトサンダースが1勝2敗1分で4位となりました。部としては本大会で6連覇を達成することができました。札幌ドームで開催される全道大会に向けて、一丸となって練習を頑張っています。



バドミントン部

今年度は 12 名で活動しています。勝負にこだわって喜びや悔しさを前面に出す部員、仲間の好プレーを称える部員、技術向上を目指して基礎練習にコツコツ取り組む部員など、個性やモチベーションの持ち方はそれぞれですが、全員が部活の時間を思い切り楽しんでいます。



文化部

今年度は1年生4名が入部し、合計8名で活動しています。音楽活動では清溪祭でピアノ、ウクレレと歌唱、バンド演奏を行いました。今後は老人ホームなどへの訪問演奏を予定しています。美術活動では写真作品や切り絵の展示、自分の得意分野を生かした自由な作品制作などに取り組んでいます。



<お知らせ>

次回は12月の発行となります。北海道北斗高等支援学校の学習の様子、学校生活の様子をお伝えします。

※ホームページもどうぞご覧ください。

<http://www.hokuto-koushi.hokkaido-c.ed.jp>



北斗高等支援学校に関することや特別支援教育に関するお問い合わせは、下記連絡先までお気軽に御連絡ください。
<連絡先>

北海道北斗高等支援学校(上磯高等学校 併設)

北斗市中野通3丁目6番1号

TEL:0138-74-3431

FAX:0138-74-3435